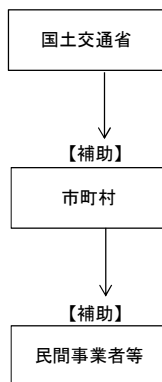


平成27年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )										
事業名	歴史的風致保全・活用事業			担当部局庁	都市局			作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	公園緑地・景観課 景観・歴史的な文化環境整備室			課長 柳野 良明		
会計区分	一般会計			政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 21 景観に優れた国土・観光地づくりを推進する					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、 「日本再興戦略」改訂、経済財政運営と改革の基本方針、 国土強靱化アクションプラン、文化芸術の振興に関する基本的な方針					
主要政策・施策	観光立国、国土強靱化			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歴史的建造物等の防災性向上や、地域固有の資源や技術の適切な継承・伝承への支援を行うことにより、地域の観光資源ともなる歴史的まちなみの保全・活用や良好な景観形成を図り、地域活性化・観光振興に寄与することを目的とするものである。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	歴史的風致維持向上計画認定都市を対象として、文化庁による文化財防災と一体となった歴史的まちなみの防災性の向上や、地域産材や伝統工法といった資源や技術を継承・伝承する取組等に対し、総合的な支援を行うものである。									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0	0	100		
	執行額	-	-	-	-	-	-			
	執行率 (%)	-	-	-	-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度			
	歴史的まちなみの保全・活用により、観光入込客数が増加した市町村数を8団体まで引き上げる。	歴史的まちなみの保全・活用により、観光入込客数が増加した市町村数	成果実績	団体	-	-	-	-		
			目標値	団体	-	-	-	8		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込				
	本事業を実施した市町村数	活動実績	団体	-	-	-	-			
		当初見込み	団体	-	-	-	4			
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込				
	事業費(百万円)/市町村数(団体)	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	25			
		計算式	事業費/都 市数	-	-	-	100/4			
平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	歴史的風致保全・活用事業	-	100	平成28年度新規要求 「新しい日本のための優先課題推進枠」100百万円						
	計	0	100							

**事業所管部局による点検・改善**

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	歴史的まちなみの保全・活用や良好な景観の形成は、地域活性化・観光振興に資することから、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国固有の歴史的まちなみは、地域のみならず国家的な観点から次世代に継承を図っていく必要があり、それらを活用した観光振興は、国が推進すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	歴史的まちなみを保全・活用することは、都市の魅力向上とともに、観光立国を体現する観光地域の形成につながることから、優先度が高い事業となっている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	市町村等にも適正な負担を求めることとしており、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	申請内容を精査し、真に必要な内容についてのみ補助することとしており、単位あたりのコストは妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	歴史的風致の保全・活用による地域活性化・観光振興を促進する事業内容としており、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	- -	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は「日本再興戦略」、「経済財政運営と改革の基本方針」において掲げられている「観光資源の磨き上げ」、「文化財の保存・活用・継承等」に沿って、歴史的まちなみの保全・活用や良好な景観形成を推進する施策であり、優先度も極めて高い。また、事業内容は、歴史的風致の保全・活用による地域活性化・観光振興を促進する真に必要なものに限定し、適切な執行を図る。	
	改善の方向性	-	
<b>外部有識者の所見</b>			
-			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
文化財防災を担う文化庁とも連携しつつ、効果的、効率的な執行ができるよう努めるべき。			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
-			
<b>備考</b>			
-			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成22年度	-	平成23年度	-
平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位: 百万  
円)